



2023年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月11日
上場取引所 東

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門・コンプライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619
 定時株主総会開催予定日 2023年8月25日 配当支払開始予定日 2023年8月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年8月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年5月期の連結業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	62,179	2.5	1,785	△2.7	1,913	0.2	1,426	9.5
2022年5月期	60,691	△0.1	1,835	10.5	1,909	8.1	1,302	△9.3

（注）包括利益 2023年5月期 1,405百万円（△4.9%） 2022年5月期 1,477百万円（△9.1%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	123.63	—	6.2	4.0	2.9
2022年5月期	111.83	—	5.9	4.0	3.0

（参考）持分法投資損益 2023年5月期 -百万円 2022年5月期 -百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	46,707	23,513	50.3	2,053.62
2022年5月期	48,932	22,645	46.3	1,956.51

（参考）自己資本 2023年5月期 23,513百万円 2022年5月期 22,645百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	△1,590	△499	△579	2,114
2022年5月期	570	△752	△531	4,776

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	—	11.00	—	18.00	29.00	338	25.9	1.5
2023年5月期	—	11.00	—	20.00	31.00	358	25.1	1.5
2024年5月期（予想）	—	11.00	—	20.00	31.00		24.5	

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	64,000	2.9	1,850	3.6	2,000	4.5	1,450	1.7	126.64

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年5月期	11,772,626株	2022年5月期	11,772,626株
2023年5月期	322,818株	2022年5月期	198,197株
2023年5月期	11,536,857株	2022年5月期	11,647,285株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(注) 期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2023年5月期 66,600株、2022年5月期 66,600株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2023年5月期 66,600株、2022年5月期 68,385株）。

(参考) 個別業績の概要

2023年5月期の個別業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	61,713	2.4	1,719	△0.8	1,865	2.3	1,393	11.3
2022年5月期	60,249	△0.1	1,733	8.2	1,823	0.8	1,252	△15.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期	120.81	—
2022年5月期	107.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年5月期	46,376	23,145	23,145	22,332	49.9	2,021.48	1,929.50	
2022年5月期	48,668	22,332	22,332	22,332	45.9	1,929.50	1,929.50	

(参考) 自己資本 2023年5月期 23,145百万円 2022年5月期 22,332百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年7月31日（月）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催し、当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2022年6月1日～2023年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、行動制限緩和や5類への引き下げにより社会経済活動が正常化へと近づきました。その一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や円安の影響による原材料価格や光熱費の高騰、物価上昇が景気下押し圧力となるなど不透明感が続いております。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、ウクライナ情勢がコロナ禍から回復途上にあった日本農業に大きなダメージをもたらしました。資源・穀物価格高騰に伴い肥料・飼料・資材・光熱費が値上がりし、特に輸入生産資材への依存度が高い畜産部門の影響は深刻で、廃業する酪農家が多発するなど農家経営は厳しさを増しております。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業の販売が増加したことなどにより、売上高621億79百万円で前年同期比14億87百万円（2.5%）の増収となりました。利益面では、種苗事業が利益減となったことなどから、営業利益17億85百万円で前年同期比50百万円（2.7%）減、となりました。一方、営業外費用関係で為替差損の発生が減少したこと、経常利益19億13百万円で前年同期比4百万円（0.2%）増、親会社株主に帰属する当期純利益14億26百万円で前年同期比1億23百万円（9.5%）増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

種苗事業

種苗事業においては、野菜種子の輸出でタマネギ・ネギの販売が堅調に推移したことや円安による価格上昇もあり海外向け販売が増加いたしました。また、食味の良さが評価されたウイルスフリーサツマイモ苗が当期も販売増となったことに加え、野菜種子及び牧草種子の仕入コスト上昇に伴い販売価格を見直したことなどから、売上高88億36百万円で前年同期比4.0%の増収となりました。利益面では、品質が低下した野菜種子の廃棄を進めたことや、牧草種子で円安等に伴う仕入単価の上昇を販売単価に転嫁しきれなかったことから、セグメント利益8億56百万円で前年同期比33.2%減となりました。

花き事業

花き事業においては、営利栽培農家向けのカーネーション・カスミ草・スターチスの苗やユーストマ種子の販売が増加したほか、肥料の新規商品や生産者向けオリジナル培土が好調に推移したものの、コロナ禍の巣ごもり需要の反動減や一部商品の販売ルートが他社に移ったことにより、売上高91億78百万円で前年同期比1.6%の減収となりました。利益面でも、減収による売上利益額の減少及び国内外出張旅費等の費用増加により、セグメント利益1億35百万円で前年同期比15.3%減となりました。

農材事業

農材事業においては、主要取扱い商品の農薬が、資源価格高騰などの影響によりメーカー出荷価格が上昇いたしました。それに対応して販売価格を見直した影響から販売が増加し、売上高301億9百万円で前年同期比6.4%の増収となり、利益面でも、セグメント利益14億44百万円で前年同期比51.9%増となりました。

施設材事業

施設材事業においては、原料価格高騰にスライドした農業用フィルムや鉄製品等農業資材の価格上昇が、農家の買い控えや設備投資意欲の減退を招いたことから販売が減少し、売上高140億54百万円で前年同期比3.5%の減収となり、利益面でも、セグメント利益3億21百万円で前年同期比23.6%減となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における「資産の部」の残高は、467億7百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億24百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。

また、「負債の部」の残高は、231億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億92百万円減少いたしました。これは主に買掛金が減少したことによるものであります。なお、買掛金の減少は、農薬等の値上げ前購入需要に対応するため、前倒し仕入れを行ったことから、資金決済も前倒しとなったことによるものであり、資産の部の現金及び預金も当該理由により減少しております。

「純資産の部」の残高は、235億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億68百万円増加いたしました。これは主に利益計上に伴うものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して26億61百万円減少し、21億14百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、15億90百万円（前連結会計年度は5億70百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益18億95百万円、減価償却費4億54百万円及び売上債権の減少額8億1百万円などにより資金を獲得したものの、仕入債務の減少33億20百万円、棚卸資産の増加10億68百万円及び法人税等を4億12百万円支払うなどで資金を使用したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、4億99百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得に3億68百万円、投資有価証券の取得に58百万円を支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億79百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

これは主に、配当金の支払や自己株式の取得によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期
自己資本比率（%）	43.1	43.6	45.7	46.3	50.3
時価ベースの自己資本比率（%）	34.8	35.7	36.3	43.0	34.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.1	0.2	0.0	0.2	△0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	71.3	46.5	193.3	48.2	△127.2

（注）1. 各指標は、下記の基準で算出しております。

- (1) 自己資本比率＝自己資本÷総資産
- (2) 時価ベースの自己資本比率＝株式時価総額÷総資産
- (3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率＝有利子負債÷キャッシュ・フロー
- (4) インタレスト・カバレッジ・レシオ＝キャッシュ・フロー÷利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
4. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
5. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
6. 利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4） 今後の見通し

次期（2024年5月期）の見通しにつきましては、種苗事業で野菜及び牧草種子、花き事業で花苗の販売増を見込んでおります。また、農材事業ではシェアアップ、加えて農材事業及び施設材事業で販売価格を見直した影響から増収を予想いたします。これらを踏まえ、売上高640億円、営業利益18億50百万円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億50百万円で増収増益を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,109,988	2,448,185
受取手形及び売掛金	21,909,529	21,108,483
商品	9,165,220	10,231,778
未収入金	2,025,776	2,182,034
その他	325,594	271,469
貸倒引当金	△21,972	△20,996
流動資産合計	38,514,137	36,220,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,369,735	2,429,592
土地	3,993,961	3,999,060
その他（純額）	255,043	356,347
有形固定資産合計	6,618,740	6,785,000
無形固定資産	898,471	720,780
投資その他の資産		
投資有価証券	2,368,588	2,360,797
繰延税金資産	129,825	131,194
その他	409,395	508,468
貸倒引当金	△6,559	△19,321
投資その他の資産合計	2,901,250	2,981,139
固定資産合計	10,418,461	10,486,921
資産合計	48,932,599	46,707,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,602,856	19,448,024
未払法人税等	250,013	306,191
その他	1,797,473	1,813,531
流動負債合計	24,650,342	21,567,747
固定負債		
退職給付に係る負債	1,292,668	1,265,239
役員株式給付引当金	51,958	65,563
その他	291,847	295,492
固定負債合計	1,636,474	1,626,295
負債合計	26,286,817	23,194,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	18,632,298	19,721,047
自己株式	△276,921	△477,057
株主資本合計	21,611,868	22,500,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,000,036	956,629
為替換算調整勘定	△13,803	2,373
退職給付に係る調整累計額	47,439	54,087
その他の包括利益累計額合計	1,033,673	1,013,089
非支配株主持分	240	262
純資産合計	22,645,781	23,513,832
負債純資産合計	48,932,599	46,707,875

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
売上高	60,691,766	62,179,177
売上原価	51,203,850	52,671,747
売上総利益	9,487,916	9,507,429
販売費及び一般管理費	7,652,290	7,722,032
営業利益	1,835,625	1,785,397
営業外収益		
受取利息	3,571	4,419
受取配当金	40,013	49,623
受取家賃	69,119	67,394
受取補償金	16,190	—
その他	25,447	31,822
営業外収益合計	154,343	153,259
営業外費用		
支払利息	11,950	12,615
為替差損	67,246	9,752
その他	1,769	2,969
営業外費用合計	80,966	25,337
経常利益	1,909,002	1,913,319
特別利益		
固定資産売却益	500	—
移転補償金	151	—
特別利益合計	651	—
特別損失		
固定資産売却損	10,108	2,250
固定資産処分損	46,399	11,099
投資有価証券評価損	—	4,131
減損損失	5,400	—
特別損失合計	61,908	17,481
税金等調整前当期純利益	1,847,745	1,895,837
法人税、住民税及び事業税	450,744	453,187
法人税等調整額	94,378	16,274
法人税等合計	545,123	469,461
当期純利益	1,302,622	1,426,376
非支配株主に帰属する当期純利益	51	37
親会社株主に帰属する当期純利益	1,302,571	1,426,338

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
当期純利益	1,302,622	1,426,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	143,965	△43,407
為替換算調整勘定	11,133	16,176
退職給付に係る調整額	20,004	6,647
その他の包括利益合計	175,103	△20,583
包括利益	1,477,726	1,405,792
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,477,659	1,405,745
非支配株主に係る包括利益	66	46

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,267	1,765,224	17,711,991	△130,303	20,838,179
会計方針の変更による累積的影響額			△41,851		△41,851
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,491,267	1,765,224	17,670,140	△130,303	20,796,327
当期変動額					
剰余金の配当			△340,412		△340,412
親会社株主に帰属する当期純利益			1,302,571		1,302,571
自己株式の取得				△155,013	△155,013
自己株式の処分				8,395	8,395
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	962,158	△146,617	815,540
当期末残高	1,491,267	1,765,224	18,632,298	△276,921	21,611,868

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	856,070	△24,937	27,435	858,569	205	21,696,954
会計方針の変更による累積的影響額				—	—	△41,851
会計方針の変更を反映した当期首残高	856,070	△24,937	27,435	858,569	205	21,655,102
当期変動額						
剰余金の配当				—	—	△340,412
親会社株主に帰属する当期純利益				—	—	1,302,571
自己株式の取得				—	—	△155,013
自己株式の処分				—	—	8,395
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	143,965	11,133	20,004	175,103	35	175,139
当期変動額合計	143,965	11,133	20,004	175,103	35	990,679
当期末残高	1,000,036	△13,803	47,439	1,033,673	240	22,645,781

当連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,267	1,765,224	18,632,298	△276,921	21,611,868
当期変動額					
剰余金の配当			△337,588		△337,588
親会社株主に帰属する当期純利益			1,426,338		1,426,338
自己株式の取得				△200,136	△200,136
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	—	1,088,749	△200,136	888,612
当期末残高	1,491,267	1,765,224	19,721,047	△477,057	22,500,481

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,000,036	△13,803	47,439	1,033,673	240	22,645,781
当期変動額						
剰余金の配当				—	—	△337,588
親会社株主に帰属する当期純利益				—	—	1,426,338
自己株式の取得				—	—	△200,136
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△43,407	16,176	6,647	△20,583	21	△20,562
当期変動額合計	△43,407	16,176	6,647	△20,583	21	868,050
当期末残高	956,629	2,373	54,087	1,013,089	262	23,513,832

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,847,745	1,895,837
減価償却費	356,884	454,596
減損損失	5,400	—
移転補償金	△151	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△12,625	11,786
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12,485	△19,734
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	12,589	13,604
受取利息及び受取配当金	△43,585	△54,043
支払利息	11,950	12,615
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	4,131
有形固定資産除売却損益 (△は益)	56,008	13,350
売上債権の増減額 (△は増加)	△95,140	801,533
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△985,516	△1,068,042
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,990	△3,320,480
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,697	73,250
その他	△129,262	△38,355
小計	989,103	△1,219,951
利息及び配当金の受取額	43,586	53,876
利息の支払額	△11,839	△12,504
移転補償金の受取額	151	—
法人税等の支払額	△455,342	△412,026
その他の収入	4,875	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	570,533	△1,590,605
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△416,261	△368,568
有形固定資産の売却による収入	6,031	5,750
無形固定資産の取得による支出	△305,073	△33,743
投資有価証券の取得による支出	△7,673	△58,596
その他	△29,587	△44,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△752,564	△499,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,920,000	3,800,000
短期借入金の返済による支出	△2,920,000	△3,800,000
配当金の支払額	△339,589	△337,127
自己株式の取得による支出	△155,013	△200,136
その他	△36,792	△41,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△531,395	△579,189
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,911	7,497
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△709,514	△2,661,802
現金及び現金同等物の期首残高	5,486,002	4,776,488
現金及び現金同等物の期末残高	4,776,488	2,114,685

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」）

当社は、2019年8月27日開催の第72回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く。以下、同じ。）に対する株式報酬制度「株式給付信託（BBT（=Board Benefit Trust））」（以下、「本制度」といいます。）を導入しております。

本制度は、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にすることで、中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）に準じております。

（1）取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託（以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。）を通じて取得され、取締役に対して当社が定める役員株式給付規程にしたがって、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭（以下、「当社株式等」といいます。）が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

（2）信託に残存する自社の株式

当社は、本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当連結会計年度末の当該自己株式の帳簿価額は96,404千円、株式数は66,600株であります。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別セグメントから構成されており、「種苗事業」（野菜種子、牧草種子、ウイルスフリー苗及び種イモ、造園・法面工事の請負施工）、「花き事業」（花苗、家庭菜園向け野菜苗、家庭園芸用資材）、「農材事業」（農薬、被覆肥料）、及び「施設材事業」（農業資材、養液栽培プラント・温室の設計・施工）の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、報告セグメントに直接配分できない本社及び支店の償却資産等は、各報告セグメントに配分しておりません。一方、それら資産の減価償却費については、合理的な基準に従い、対応する各報告セグメントに配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,498,208	9,329,594	28,298,993	14,564,970	60,691,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,479	752	—	—	25,232
計	8,522,687	9,330,347	28,298,993	14,564,970	60,716,999
セグメント利益	1,281,586	160,397	951,064	421,505	2,814,553
セグメント資産	9,901,244	3,740,324	16,058,364	6,176,513	35,876,446
その他の項目					
減価償却費	205,953	34,913	47,992	43,061	331,920
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	231,417	16,319	3,141	20,901	271,779

当連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

(単位:千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,836,360	9,178,074	30,109,889	14,054,853	62,179,177
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,836,360	9,178,074	30,109,889	14,054,853	62,179,177
セグメント利益	856,407	135,914	1,444,543	321,966	2,758,832
セグメント資産	10,762,877	3,892,231	16,045,404	5,879,829	36,580,342
その他の項目					
減価償却費	231,376	47,416	84,613	60,910	424,317
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	174,409	56,369	—	116,581	347,360

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	60,716,999	62,179,177
セグメント間取引消去	△25,232	—
連結財務諸表の売上高	60,691,766	62,179,177

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,814,553	2,758,832
全社費用（注）	△978,928	△973,434
連結財務諸表の営業利益	1,835,625	1,785,397

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、主に本社管理部門に係る費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	35,876,446	36,580,342
全社資産（注）	13,056,152	10,127,532
連結財務諸表の資産合計	48,932,599	46,707,875

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であり、主に現金及び預金、本社及び支店の土地・建物であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	331,920	424,317	24,964	30,279	356,884	454,596
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	271,779	347,360	467,608	104,347	739,387	451,708

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない本社及び支店における増加額であります。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

(単位：千円)

	種苗事業	花き事業	農材事業	施設材事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	5,400	5,400

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
1株当たり純資産額	1,956.51円	2,053.62円
1株当たり当期純利益	111.83円	123.63円

(注) 1. 「株式給付信託 (BBT)」の信託財産として信託が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております (前連結会計年度66,600株、当連結会計年度66,600株)。

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (前連結会計年度68,385株、当連結会計年度66,600株)。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,302,571	1,426,338
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (千円)	1,302,571	1,426,338
普通株式の期中平均株式数 (千株)	11,647	11,536

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・ 新任取締役候補

社外取締役 竹下 裕理

・ 退任予定取締役

社外取締役 内田 武

③ 就任及び退任予定日

2023年8月25日